



# 校長通信

令和4年度25号 令和4年12月23日

和歌山市立河北中学校 校長 戸川定昭

平素は、河北中学校の取組に対しまして、ご理解・ご協力を賜り、ありがとうございます。おかげ様をもちまして、本日、無事、2学期の終業式を迎えることができました。

2022年、最後の校長通信は、終業式で私が子どもたちに話した内容を掲載します。保護者の皆様にとって、来年がより良い年となりますよう、願っております。来年も、よろしく願います。



## 《2学期終業式 校長のことば》

1年で1番長い学期、2学期を本日無事終了することができました。みなさんは、勉学に、体育大会、マラソン大会、文化祭、校外学習等の学校行事に、部活動に、前向きに取り組んでくれたと思います。

明日から、冬休み、今年も残すところ1週間あまりとなりました。2022年は、みなさんにとって、どのような年でしたか？振り返ってみれば、ロシアのウクライナ侵攻が2月にあり、今も、戦争が続いています。7月には安倍晋三元首相が、銃により暗殺されるという、かつての日本では想像できないようなショッキングな出来事がありました。人の命の大切さを改めて感じさせる1年だったと思います。

来年は、どのような年になるのでしょうか。私たちが、平和に安全に暮らして行くには、私たち一人一人が平和を願い、すべての人の人権を尊重して行動していくことが大切です。そのためには、まず、自分自身を大切にすること。勉学にいそしみ、身心を鍛え、芸術に触れ、自分を高めていくことが重要だと思います。3年生は、受験があります。1・2年生は、次の学年に進級します。夢をもって、目標を定め、努力して行ってほしいと思います。

私自身の、来年の目標は、来年の春に、剣道8段審査に挑戦する権利を得るので、チャレンジしようと思います。合格率0.3%、1000人受審して、3人しか合格しない超難関審査ですが、とにかく、挑戦します。

来年が、みなさんにとって、良い年となるよう願っています。お正月は、家族の団らんを大切にしてください。

3学期の始業式で、元気な姿で会えることを楽しみにしています。

